校長あいさつ

「学び合い　育ち合い　自立と社会参加の力を身につける学校　」

京都府立南山城支援学校のホームページをご覧いただきありがとうございます。

昭和 56 年に開校し 44 年目を迎える今年度は、小学部 44 名　中学部 30 名　高等部 40 名の計 114 名でスタートします。学校教育目標を「学び合い　育ち合い　自立と社会参加の力を身につける学校」としており、仲間や集団との関わりをとおして、周りの出来事や人に気持ちを向けることや、自分で考え行動する力を身につけていくことを目指していきます。また、小学部から高等部までの児童生徒がお互いを認め合いながら、先輩への「憧れ」と先輩としての「ほこり」をもち、卒業時に意欲的に社会参加を目指す生徒に育てていきたいと考えています。

令和４年度から、京都ノートルダム女子大学様や伊藤忠記念財団様・図書館振興財団様に助成等の御支援をいただき、令和６年度末に「障害の有無にかかわらず、全ての人が読書を楽しむことができる図書館」をコンセプトにした図書室：通称「ほんの森」が完成しました。児童生徒が休み時間などに「ほんの森」を訪れ、リラックスしながら本を読んでいる、そんな姿が多く見られるようになっています。ここには、好きな本が見つかる、仲間と楽しめる、一人で没頭できるそんな仕掛けがいっぱいあります。これからますます本好きな子どもたちになることが楽しみでなりません。今後は共生社会の形成に向け、読書をとおして地域の方との交流を深める憩いの場として、さらなる活用を目指していきます。

地域とともにある学校として、地域とのかかわりを大切に、地域で子供たちを育てていくそんな創立４４周年としていきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様には引き続き、本校への御理解と御協力をいただきますようお願いします。

令和６年度より「京都府南部視覚・聴覚支援センター」を校内に新設し、盲・聾学校との協働により府内視覚・聴覚障害児への一体的支援体制の構築を推進しています。

校長　畔柳　順一